

## ～ 観光地における総合的な ユニバーサルデザインの取組み～



高山では町並みが貴重な観光資源となっており、そこに暮らす生活者を含めた地域ぐるみのまちづくりが行われてきました。伝統的に高山地方に根づいた「もてなしのこころ」を育てていくことにより、体の不自由な人やお年寄りだけでなく誰でも訪れ、安全・安心・快適に過ごすことができるまちをつくらうとしています。

### モニターツアー（観光ニーズの調査）の実施

#### ・モニターツアー実施の背景

1990年代前半頃から高山市でも、観光客の減少に危機感を持ち始めていました。その頃、新市長の下で飛騨高山観光客誘致促進東京事務所が開設され、主に首都圏の観光ニーズを調べるためのモニターツアーが始まりました。対象者は、バリアフリーのまちづくりを目指すという高山市の考えに沿って、体の不自由な方とその介助者や家族、お年寄り等を中心に参加者を募りました。この参加者の観光体験を通じた反響や提言を参考に、できることから観光施設や町並み、もてなす人のこころなどのバリアフリー化を進めています。

#### ・モニターツアーの概要

平成8年から平成15年まで、計13回に渡り実施されました。参加者は身体にいろいろな不自由さを抱えておられる方を中心に、毎回様々なメンバーによって、多様な人の観光に対する要望がモニター調査されました。高山の古いまちなみが持つ段差や移動の為に車いす使用への配慮、観光地でのトイレの問題等、このツアー参加者の声によって改善されたバリアフリー化も実現されています。



<モニターツアーから寄せられた主な声>

- ・ 改札や列車の乗降口、通路の幅が車いす使用には狭い。車いす専用シートが必要。
- ・ 車いす使用可能エレベーターが列車のホームから遠い。(荷物用エレベーター使用)
- ・ 車いす使用可能トイレがない。トイレ確保が切実。トイレ・浴室にフラットベンチが欲しい
- ・ 観光施設の通路に車いすで越えられない段差がある。介助者と分離される場合がある。
- ・ 点字案内やパンフレット(音声カセット)が必要。食事制限者への配慮がほしい。
- ・ スロープがあり、歩きやすかった。階段にスロープがあり、有り難かった。
- ・ 運転手さんやガイドさんやお店の人たちからの気遣いのこもった言葉がうれしかった。

(以上「モニターが創ったバリアフリーのまち 高山市まちづくりレポート」山本誠著からの引用)

## 高山の主なバリアフリーの取組み

### ・バリアフリーのまちづくり

高山市では、誰もが住みやすくなるような落ち着いた定住環境とにぎわいのある交流環境を整備し、市民一人ひとりが誇りと生きがいを持てるまちづくり、安全で安心して快適に暮らすことができるバリアフリーのまちづくりを進めています。



### ・バリアフリーのまちづくりの施策

住みよいまちづくりをめざして、まちの中や施設等の段差解消、車いすトイレの整備、福祉バスや福祉タクシーの運行、様々な福祉マップ類の発行、わかりやすい案内表示・サインの設置等の取組みを行っています。



車椅子利用者やお年寄りが安心して通行できるように段差解消や目の細かいグレーチングを採用しています。



多目的トイレの設置。

- ・車いすトイレ120以上
- ・オスメイト付トイレ7ヶ所(H14・15年度)



お年寄りや体の不自由な方の移動のため電動車椅子の貸出も行っています。



実際に市内を歩き、手作りでマップを作成しました。(車いすおでかけマップ)



一般市民、特にお年寄りや体の不自由な方が低料金を利用できる巡回バスです。

## ・全国ノーマライゼーション推進高山会議

平成13年度に、高山市が中心となって、全国のバリアフリーのまちづくりをめざしている自治体、福祉、観光、建設関連企業、NPOから1,000名(内障害を抱えた方約500名)の参加者を招いた、「全国ノーマライゼーション推進高山会議」が開催されました。高山市の取組を全国に向けて情報発信するとともに、講演会、シンポジウム、分科会等を通じて、ノーマライゼーションの推進及びバリアフリーのまちづくりに関する課題解決に向けた具体的な施策づくり、ネットワークづくりが検討されました。



## ・主な取組に対する関係者の一言

「住民への説明や理解を得ることが最も大変であり、また重要なこと」「外国の方たちにも喜んでもらえるまちづくりをしたい」「ITを活用した情報発信や情報案内システムにも力を入れたい」と高山市産業振興部観光課の中畑主幹。

## 「まちひとぷら座 かんかこかん」

「まちひとぷら座 かんかこかん」は、国と高山市の補助を受け空き店舗を活用して整備されたコミュニティ施設です。中心商店街の一角にあり、市民と商店街によって運営されており、だれでも自由に入出入りすることができます。施設内には、親子交流の場としてこどもひろばや情報コー



ナー、市民グループの交流の場としてまちづくりのひろばがあり、まちづくりの情報発信やネットワークづくりが行われています。また、一時保育やベビーカー・電動スクーターの貸し出しも行っており、インターネットも利用できます。「さまざまな人たちとの交流のなかで楽しく活動しています。これからもまちなかの縁側のように多くの方が気軽に立ち寄っていただけるような場にしていきたい。」と事務局の荒井さん



【問い合わせ先】岐阜市高山市上二之町 44-4 TEL & FAX)0577-33-5055

## 【連絡先等】

問い合わせ先) 高山市産業振興部観光課

所在地) 〒506-8555 岐阜県高山市花岡町2丁目18番地

TEL) 0577-35-3145 FAX) 0577-35-3167